

第 43 回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会富山県予選会 戦評

2012 年 11 月 11 日 (日)		会場：魚津テクノスポーツドーム		
男子 試合No. 特 2		決 勝 戦		
勝ちチーム	7 7	$\left(\begin{array}{r} 17 - 20 \\ 25 - 10 \\ 17 - 11 \\ 18 - 18 \\ - \end{array} \right)$	負チーム	
富山第一高校			5 9	富山商業高校
戦 評				
<p>両チームともハーフのマンツーマン・ディフェンスで試合が始まった。富山商業はミドルシュートがよく入る一方、富山第一は⑩馬場を中心とした速攻などで対抗して、序盤から点を取り合う展開が続いた。互いに譲らず第 1Q は 17—20 で富山商業の 3 点リードで終了した。第 2Q に入っても一進一退の攻防は変わらない。⑩馬場が口を切るという負傷で途中交代したが、復帰後はリバウンドやパスカットなどからの速攻が決まり始めて富山第一が徐々に差を広げていく。結局、42—30 の 12 点差で富山第一がリードして前半を終えた。第 3Q では、富山商業が⑩馬場に対してフェイス・ディフェンスをするボックス・ワンで対抗するが差は縮まらない。富山第一の勢いは止まらず、第 3Q は 59—41 で終了した。第 4Q に入ると富山商業はマンツーマン・ディフェンスを展開するが、両チームとも激しい攻防が繰り返されて共に確実に点数を重ねていく。残り 5 分から富山商業はオールコート・マンツーマンでプレッシャーをかけるが、逆に富山第一はそれを突破して得点を重ねていった。序盤は入らなかった富山第一のミドルシュートが決まり始めるが、富山商業も正確なシュートと切り替えの速さで攻め返す。結局、富山第一の⑩馬場は 39 得点をとる大活躍であり、彼のプレーが試合の勝敗の行方を支配する結果となった。常に主導権を握り続けた富山第一が 77—59 で勝利して、見事初優勝を飾った。</p>				
記録者：加藤 雅彦		所 属：富山県高体連専門部		
主 審：竹村 和敏		副 審：一ノ谷 聡		